

## 市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	劇団東演公演『獅子の見た夢』－戦禍に生きた演劇人たち					
実施団体名	みかんの会					
事業概要	<p>【事業目的】 今治市の演劇文化振興にくわえ、人権が守られ平和が守られる社会実現に寄与すること。</p> <p>【事業内容】 人権や平和の大切さを伝える演劇作品として 剧団東演による『獅子の見た夢』－戦禍に生きた演劇人たち－ を上演して1人でも多くの市民に見てもらい、この作品を通して、私たちが自由に生きる権利と平和の大切さを改めて考える機会をつくる。</p>					
事業の発展性	今年度の経験を生かし、企画からみんなで話し合い、一体となって取り組んで今後の事業を盛り上げていきたい。今回事業では周知をかなり頑張ったが来てほしい客層が少なかったため、作品内容や日程などを考慮し、今治市において優れた演劇に触れる機会を増やしていきたい。					
補助額	市補助額	205,000 円	総事業額	1,409,417 円	補助対象経費	293,143 円
コメント	実施団体	<p>＜事業を実施しての効果＞ 演劇に興味を持つ市民が増え、その中から184名の市民が優れた演劇に触れる体験をした。来場者に演劇公演とロビーの展示パネル・配布資料から、人権や平和など考えていただき、戦災犠牲者への追悼や平和祈願の場にもなった。</p> <p>＜事業を実施しての問題点＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①広報へ注力（口コミ、市広報誌、タウン紙、中～大学へのポスター他配置、ラヂオバリバリ番組出演2回・リストナーブレゼント・券の販売依頼、親子防災催事出展）するも、券売の動き遅く追い上げ及ばず、特に学生の集客に苦戦。</li> <li>②台詞聴こえにくい場面あり、今後公会堂利用時の音響に懸念が残った。私語・雑音・携帯などマナー悪い人がいた。</li> <li>③活動が事務局に集中した。</li> <li>④文化庁補助金範囲に誤謬があった。</li> </ol> <p>＜問題点に対する解決策＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①委員皆で企画から話し合うことで、活動意欲が高まる。（※今回は先に本作の四国巡演が決定、実行委員会が後で立ち上がった）</li> <li>②音響がよい中央公民館舞台で出来る作品を選ぶことも検討する。</li> <li>③チラシ配りなど、会員と事務局が一緒に出来る活動を盛り込む。</li> <li>④予算組みの情報収集を密にする。</li> </ol>				
コメント	市民活動推進委員会	<p>＜総評＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的熱意はあるが事業の内容からみると公益性は低い。</li> <li>・補助金がなくなった場合に継続的運営ができるか心配である。補助金があっても団体の負担金は生じるものなので、資金力の強化および活動の周知、集客に力を入れて仲間づくりに努めて欲しい。</li> <li>・事業があまり集客に結びつかなかったことが残念だった。色々な手段で周知に努めているが、ポスター・チラシの配布先、周知方法などがより効果的になるように検討が必要と思われる。</li> <li>・事業規模が大きいので、それに見合う収入集客が得られるように頑張って欲しい。</li> <li>・せっかく1,000人入る会場なのに180人余りではもったいない、もっと集客に力を入れるべきと感じる。補助金を受けての実施であれば、それこそ小学生など500人無料招待して保護者はチケット購入してください、ということも出来たのでは。</li> <li>・そもそも今治市は演劇文化に興味の薄い人が多いように思われる所以、そこからして集客面は厳しい。会場施設の音響機能などの心もとなさも苦慮する点だが、ただ、劇団の規模もたくさんあると思うので、色々制約もあるだろうがもう少し望まれる規模感を精査したら、お客様の満足度も上がって次につながるのではないか。満足度を高めて次につながる工夫をしていくことも、助成金の生かし方だと思う。</li> <li>・開催が平日だったことも客足が伸びなかつた要因では。演目については、今回のテーマだと子どもにはちょっと厳しいので、開催日のタイミングや演目・内容も一考の余地あり。次回に生かしてほしい。</li> </ul>				